

「設計の見える化・ArchiMate[®] 3 トレーニング・コース」開催のご案内

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、「設計の見える化・ArchiMate[®] 3 トレーニング・コース(2022/11)」開催につきまして、ご案内申し上げます。

EA(エンタープライズ・アーキテクチャ)は、デファクトの標準フレームワーク(TOGAF[®])に代表されるように、ビジネスモデルやビジネスプロセスを創造的に変革することで、新しいビジネス価値を生み出します。オープンな構造設計を目指し、ビジネスのケイパビリティを向上のために再利用できるビルディング・ブロックを確実に増加させることで、ムダ・ムリを排除していきます。

この戦略を推進するためのICT側と経営側とのコミュニケーションは、アーキテクトが設計したテキストや図で行われるのが普通ですが、チームメンバーが多数になれば、標準化され誰もが分かるアーキテクチャ記述言語が不可欠になります。この「設計の見える化」を実現するのがArchiMate[®](アーキメイト)です。

ArchiMate[®]を使用することで、TOGAF[®]によって生成されるアーキテクチャをビジネスの現場、システム開発からオペレーション部隊に至るまで、分かり易く“見える化”できます。併せて曖昧さが排除できることから、ステークホルダはじめ関係者の理解が格段に得やすくなります。また、構築されたアーキテクチャをソリューションチームに引き渡したり、その後ガバナンスしていくためのドキュメント管理、ポートフォリオ管理、アウトソーシング管理も格段に効率化することができます。

2022年9月現在、ArchiMate[®]の世界の認証数は11,500を超えています。今回開催いたしますトレーニング・コースは、EAを記述する上で明示的に必要なモチベーションやストラテジーの記述がさらに容易になった最新のバージョンArchiMate[®] 3.1に基づいて行われます。

TOGAF[®]認証者と同等の知識・経験をお持ちのアーキテクトの方、ジュニア・EA アーキテクト又はEAライブラリアンの方々を対象に、TOGAF[®]とArchiMate[®]の組み合わせによりアーキテクチャの効率的構築を進めて頂きたいと考えご案内申し上げます。

TOGAF[®]の一層の活用のために、奮ってご参加のほどお待ち申し上げます次第です。

敬 具

グローバル情報社会研究所株式会社 代表取締役社長
オープン・グループ 日本代表・会長
藤枝 純教